

互理町防災会議 第2回地震・津波対策専門部会（第2回） 会議録

- 開催日時 平成25年6月26日（水）14:00～15:40
- 開催場所 悠里館 視聴覚ホール
- 検討項目
 - (1)6/9 防災訓練の結果報告
 - (2)津波避難計画 避難可能性の検討
 - (3)意見交換会での意見に対する地域防災計画の記載について
 - (4)今後の予定

○配布資料

- 資料-1 訓練結果の概要
- 資料-2 アンケート調査結果（中間報告）
- 資料-3 主要交差点における渋滞長調査結果
- 資料-4 職員による渋滞長調査結果
- 資料-5 津波避難計画 避難可能性の検討
- 資料-6 意見交換会での意見に対する地域防災計画の記載について
- 資料-7 今後の予定

- 1 開会
- 2 あいさつ

本来であれば齋藤部会長がごあいさつ申し上げるところでございますが、急な公務が入りまして出席できないということで、部会長代理であります、教育長の岩城が部会長に変わりましたごあいさつ申し上げます。

皆様には大変お忙しい中、第2回目の専門部会にご出席をいただきましたこと心より御礼を申し上げます。また、日ごろ本町の防災行政の推進につきまして、格別なるご支援、ご協力をいただいておりますことにつきましても重ねて御礼申し上げます。

さて、今月9日互理町総合防災訓練を開催されましたが、報道等でご存じのとおり、全国でも例の少ない自動車での津波避難訓練を実施いたしました。

このため、本日の会議につきましてもその内容について、ご説明もあるようございますので、皆様からの忌たんのないご意見をお願い申し上げまして、簡単ではございますがあいさつとさせていただきます。

- 3 検討項目

- (1)6/9 防災訓練の結果報告
 - ①訓練結果の概要
 - ②アンケート調査結果（中間報告）
 - ③主要交差点における渋滞長調査結果

④職員による渋滞長調査結果

資料-1～4により事務局より説明。

【委員】

資料-3において、180mの渋滞があったということだが、渋滞を抜けるのに、どのくらいの時間がかかったか、計測はされているか。

【事務局】

渋滞を抜けるのにかかる時間については、計測はしておりません。

グラフでは9時ごろに渋滞解消しているようで、10分くらいで解消しているようです。なお、この信号は15秒くらいで変わってしまうので、1回に多くて5台くらいしか通過できない交差点です。

【委員】

資料-1の渋滞長の時間帯別グラフを見ると、8:50のピーク（180m）に対し、9:00には渋滞が解消しているため、約10分程度で渋滞が解消したとも考えられます。

【委員】

サイレンについて、私はよく聞こえたが、聞こえなかったという意見が多かったようで驚いている。どういう理由が考えられるか。

【事務局】

当日は、取材のヘリが3機飛んでおり、その影響もあったのではないかと考えている。

【委員】

訓練では亘理中に移動するよにということで、ルートも示していたのでスムーズに渋滞にあうこともなかった。

亘理駅の方にいたが、放送があったみたいだが何を言っているのか分かりませんでした。亘理中学校に行ったら体育館に入っているかどうか誘導がなかったため、この先何をするのかが見えなかった。アンケートは車のルートを書き写すのは困難だったという話になった。また、問題点としては、通常であれば吉田小学校に避難するべきであったが、今回の訓練は亘理中学校に避難であった。このため何人かは吉田小に行ってしまった。以前は長瀬小学校で津波の避難訓練をやっていたので、もし震災当時の訓練も吉田小学校でやっていたら早く避難できたかなということと今後の訓練は避難先を統一してもらいたい。

【委員】

アンケートについては、東北大も一緒になって作成に協力したが、ボリュームが非常に大きくなってしまったことについて、お詫びしたい。

アンケートの中で、東日本大震災の時のこと、H24.12.7の津波警報発令の際の行動に関する設問を追加したのは、過去の経験がどのように反映されているか、また今回の避難はスムーズだっ

たが過去と比べてどのような点が違っているか、などについて検討するためであった。ご理解をいただきたい。次回以降、過去の経験がどう生かされたかを発表させていただければと思う。

【事務局】

避難経路の件ですけれども、今回参加したのは約 600 台くらいです。実際はもっと多くなると思います。みなさんが通常通るルートを通すとかなりの渋滞が発生してしまうだろうと思います。避難時のルートが分散すれば、渋滞も減るかもしれないという思いもあり、過去の避難についての設問も追加し、検証しようということでアンケートのボリュームが大きくなってしまった。今後の検討に活かすための設問であったということをご理解いただきたい。

【部会長代理】

6/9 においては、荒浜小学校でも避難訓練が開催されている。概要について、報告いただきたい。

【委員】

荒浜小学校においては、3 部構成で避難訓練を実施した。

第 1 部は、私どもは学校にとどまるかたちで訓練を行いました。その際、高齢者の方が屋上に上がる階段がきついという話をいただいた。車で来た方もいて、足の悪い方は移動が長い時間になってしまうので、優先的な駐車スペースも必要になるかと思いました。

第 2 部は、避難した地域の方々と子供たちと防災の事について話し合いをしました。

第 3 部は、保護者の引き渡し訓練を行いました。その中で鍵の開け閉めで、鍵を預かると自分が避難していかなくてはいけないというのもあるので、決められた場所を壊して入るかたちもいのではないかという意見があった。学校周辺の住民が、小学校に避難してくるというものであった。

訓練を実施してみて、訓練をやらなければわからないことが多いことに気づいた。訓練をやることは、非常に意義のあることであると考えており、来年度は全町を挙げて防災訓練をやってもらいたい。

【委員】

実際の地震の際は、道路に障害物が出てくる可能性があるので、今後検討はサイン事業などで危険なところを回避して避難する工夫も検討する必要があると思う。

【委員】

午前中に避難場所をまわってみたが、徒歩で避難するのは難しいと思った。避難するとき真剣味が足りない意見があったが、実際は自分が知らないところには避難はできない。なおかつ自分が行ったことがないルートを通って避難することもできない。こういった訓練で日ごろから色々なルートを体験してもらおうのが大事だと思う。

(2)津波避難計画 避難可能性の検討

資料-5 により事務局より説明。

【委員】

資料-5 については、徒歩における水平避難・垂直避難について検討されたものであり、その避難の可否の境界がどのあたりにあるのかということを示している。また、水平・垂直避難の両方が困難となっている地区については、今後重点的な対策が必要な区域ということを示している。垂直避難に関しては、今後更に避難場所を増やすなどし、詳細な検討結果をまた提示いただきたい。

(3)意見交換会での意見に対する地域防災計画の記載について

資料-6 により事務局より説明。

【委員】

県外から亙理町に研修に来る人から、最悪の場合(人がいない時間帯の対応、夜間の対応、災害時要援護者への支援等)の対応をどのようにしているのか、ということをよく聞かれる。地域防災計画には理想的な対応方法について記載されているが、どのように答えるのがよいのか、困っている。

【委員】

県外から来た人はまだ震災を受けてないので、ご自身が震災を受ける前はどうか状況をお示しして、受けてどうかお話すればいいと思います。地域防災計画の目次で最後に災害教訓の伝承という節があり、みなさんと相談しながら発信していける体制と内容を検討していただければと思う。

【委員】

計画の中だけでなく、実際に関わってくる医療機関や歯科医師会や薬剤師会の技術者と自治体との協議会の開催を検討していただきたい。

【事務局】

全体的な計画を作らせていただきまして、個別に医師会や薬剤師会との関係課を含めて協定等についてお話を進めさせていただきたいと思います。

【委員】

震災時の炊き出しについて実際に経験したのものとして、5,000 人の食事が準備できたとしても各避難所に配達するとか、避難所ごとの対応についてもう少し細かな計画を立てた方がいいと思う。震災では婦人防火クラブが対応したが、今回の計画だけでは十分ではないような気がしました。

【事務局】

大量の炊き出しを行うためには、給食センターを活用していくことが必要だということで、地域防災計画にも明記しようと考えている。ただし、細部の計画については、個別に作成するマニュアル等で内容を充実させていきたいと考えている。

【部会長代理】

食料品の調達に関して、亘理町に進出してきた弁当屋を使うなどの方法も考えられるのではないかな。

【事務局】

弁当屋とは協定を締結したが、今後どこまで協力してもらえるかなどについて、細部を詰めていきたい。地域防災計画においては、基本方針などの大枠の部分を記載し、細部については協定等で詰めていきたい。

【委員】

地域防災計画は、地域の防災に関する大枠を示すものであり、項目を記載していくものとなる。

また、地域防災計画に記載した各項目については、優先順位をつけて、順次実施していくこととなると思う。

【委員】

本日提示された地域防災計画の記載案であるが、整備するだけでなく、維持管理の視点も入っており、非常に良いと思う。

亘理町は、東日本大震災を経験しており、その被災経験を伝えていくことも重要であり、被災地の地域防災計画として意味のあるものである。

【委員】

協議会や協定については、地域防災計画の資料編にとりまとめることになる。次回の検討部会では、協定の一覧や協議会のリストについても、盛り込んだものを提示してもらいたい。

(4) 今後の予定

資料-7 について事務局より説明。

4 閉会